

グローバル特集号の発刊にあたって

執行役員

グローバル・営業統括本部長 新 村 高 志

2019 年度を初年度とする IHI グループ中期経営計画「グループ経営方針 2019」では、取り巻く社会環境の変化を踏まえて、長期視点での持続可能な社会の実現への貢献を謳^{うた}っています。

世界では、グローバル化やデジタル化が想像を超える速さで進んでいます。あらゆる変化に柔軟に対応し、社会とお客さまの課題に真正面から取り組み、より良い社会を実現するために、IHI グループは、ハードウェア供給を中心とした社会への貢献から事業の中身を組み替えつつ、新たな価値を創造する企業へと自らを変革していきます。

私たちは、地球温暖化、人口増加、気候変動に伴う災害、都市化率の上昇など多くの社会課題に直面しています。IHI グループは、「技術をもって社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、国・地域に適合させたものづくり・ソリューションを提案していきます。

さらに、「課題先進国」である日本での発想を世界における普遍的な課題の解決に活用し、日本のみから単眼的に発想するだけでなく、さまざまな国・地域から複眼的にビジネス化を実現していく体制をすでに構築しています。

本特集号でもご紹介しますとおり、IHI グループでは海外での新しい技術開発や新技術・パートナーの探索、現地での共同開発をリードする技術アタッシュを海外拠点に常駐させていますが、2019 年度からその数を増やし、現地の大学・研究機関や企業などとの共同研究、各国のパートナーとのアライアンスによる新事業の創出に力を入れています。また 2014 年に始動したシリコンバレーでの活動、2018 年にオープンしたベンチャー企業とのビジネス化加速のための IHI Launch Pad など、スタートアップとの連携を今後も推進し、より多様なソリューションをスピーディーに実現していきます。

また、地域統括拠点において展開しているビジネスや注目している技術開発分野などについてご紹介しております。「現場、現物、現実」の「三現主義」に基づき、世界各地のお客さまと向き合うことで創出された製品開発の取り組みなどの事例についてもご紹介させていただきます。

IHI グループのグローバル化の目標は、より良い社会の実現をグローバルに推進し、自らも成長することです。そのために、現地でのマーケティングや、お客さま・パートナーとのコミュニケーションをより一層進化させます。そして、IHI グループの総合力を発揮し、グローバル企業への変革を加速してまいりますので、引き続き皆さまのご理解・ご支援を頂きたく何卒よろしくお願ひ申し上げます。

